

[寄港地【2025年4月発】北欧＆アラスカコースのクルーズ旅行](#)

[ポルト\(ポルトガル\)のおすすめ観光スポット クチコミ人気ランキング【フォートラベル】](#)

[ポルト 旅行・観光ガイド 2023年 - トリップアドバイザー](#)

[ポルト - Wikipedia](#)

[在ポルトガル日本国大使館](#)

ポルトガル北西部にある港湾都市ポルト。ドウロ川の河口に位置し、川沿いには白壁とオレンジ屋根の家々が並ぶ可愛らしい景観が広がります。また、旧市街・歴史地区には12世紀頃から大航海時代まで、当時の栄華を伝える壮麗な建築物が建ち並び、その美しさと歴史的価値から世界遺産に登録されています。バロック様式のカテドラルをはじめ、ポルトガル1の高さを誇るクレリゴスの塔や、世界で一番美しい書店と称されるレロ・エ・イルマオンなど、街の見どころは尽きません。



ポルトガル人の特徴

国土の南側が大西洋に面していて、温暖な気候のもと生活するポルトガル人は、あくせくせずにのんびりとしている人が多い傾向にあると言われています。

少しシャイな人や、細かな気遣いをしてくれる人も多くいます。

またポルトガルは「サウダージの国」ともいわれます。

サウダージは日本語にすると「郷愁」に近い言葉で、遠くに行って帰ってこないものを懐かしむ気持ちを表し、ポルトガル人独特の感情と言われています。

治安

ポルトガルは、他のヨーロッパ諸国に比べると治安は良好と言えます。ヨーロッパに住んでいる人たちの間でも「ポルトガル＝安全な国」というイメージを持たれてることも多く、穏やかな国と言えそうです。滞在していた中で、治安の悪いエリアや危ない地区は特にありませんでした。市街地は観光客で賑わっているためスリなどには注意が必要かもしれません、日頃生活している中で身の危険を感じることは一度もなかったです。ヨーロッパの中でもここまで安全と言える地域は他にないと思います。最も混雑している地区はS.Bento駅からワイナリーが多く点在するJardim do Morro駅ですが中心地でありながらも治安の心配はいりません。女性一人でいても治安の悪さを感じることはありません。

[ポルトガル都市：ポルトはこんなところ\(地区・治安\) - ヨーロエステートのブログ](#)

オプショナルツワー

[【ピースボート】](#)

114、115はない

[2025年4月 Voyage120 オプショナルツアーのご案内](#)

[【映画】 ポルト\(2017\)、ポルトの恋人たち \(2018\)](#)

[【Get Your Guide】](#)

[2023年 ポルトのおすすめの名所＆観光スポット - 無料キャンセル | GetYourGuide](#)

寄港地情報

[スペイン・ポルトガル旅 美味しい！楽しい！美しい！ポルト観光は最強<前編> #2-11 - YouTube](#)

[ポルトガルグルメ巡り, ドウロ川沿い観光, 街歩きと雑貨屋巡り, レロ書店 - YouTube](#)



国名とポートワインの名が由来する街、ポルトは、リスボンに次ぐポルトガル第2の都市。オポルトとも呼ばれ、現在では産業都市の一面を見せる歴史あふれる街です。リベイラを中心とする旧市街は、ドウロ川を見下ろす丘の上に築かれ、現在はユネスコの世界遺産に登録されています。14世紀に建てられたサン・フランシスコ教会は必見ですが、主に川を挟んだ対岸のヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアにある、地元のポートワインセラーもお見逃しなく。

公用語

[ポルトガル人に英語は通じる？ポルトガル語翻訳ツールも紹介 | 訪日ラボ](#)

ポルトガルの公用語はポルトガル語です。

ポルトガル人は平均的に、特に都市部においては英語力が高い傾向にあります。首都リスボンにおいて、英語でコミュニケーションをとつて困る場面はほとんどないといつてよいでしょう。

通貨：1ユーロ=169円（2024年5月現在）

通貨はユーロ（€、Euro）です。

物価

レストランはあまり安いと感じません。

ざつざつと盛られた皿を見るとその値段は安いのかもしれません、ランチやディナーとしての値段で言うと日本の外食と同じくらいです。一般的なポルトガルの食堂で、ランチ€10～€15、ディナー€20前後。

日本よりポルトガルの方が最低賃金が低いので、レストランに関しては割高に感じます。（というか日本の外食が安すぎるのかも。）

[単身ポルトガル生活の一ヶ月の生活費 | Lissa](#)

チップ

ポルトガルではチップの習慣はあるが、そのサービスに対して満足した時に渡す程度なので払い過ぎに注意。カフェ・バルはおつりの小銭程度。飲み物を頼んだだけなら不要。レストランは一般的には料金の5-15%くらい。タクシーは10%またはキリのいい金額に切り上げて支払う。

[旅のお役立ち情報 | ようこそポルトガル](#)

気候

ポルトは海洋性気候に属しており、一年を通して温暖な気候です。一般的に6月～9月が乾季で、雨はほとんど降らず、秋から春にかけて雨が多く降ります。日中は長袖シャツ一枚でも大丈夫な日も増えてきますが、朝晩は冷えるので、軽めのアウターを用意しておきましょう。折り畳み傘があると安心です。

人口/面積

国土面積は9万1,985平方キロメートルと日本の約4分の1で、人口は2018年時点で約1,029万人のうちポルトの人口は21.43万（2016年）です。

移動手段

[ポルトガル旅行、ポルトのメトロや交通機関の乗り方、料金は？](#)

[意外にお得なポルトカードでポルトを観光【ポルト】](#)

ポルトはリスボンに次ぐポルトガルの大都市です。歩いて周れる範囲に、多くの観光スポットがありますが、移動にメトロを使うこともよくあると思います。メトロのほかにもリスボンほど多くないけど、路面電車（トラム）も走っていたりバスも走っています。交通機関を利用してことで、観光できる範囲も広がるし効率よく観光スポットを周れます。ポルトの街は、バス、メトロ、トラムと交通機関が揃っています。ですが、距離的にも観光スポット

トはすべて徒歩圏内ですので、わざわざ公共機関を利用する必要はありません。しかも、タイムスリップ気分が味わえそつない小路やおしゃれなお店が多いので、歩いて散策しながらの観光がおすすめです。

【路面電車（トラム）】

市電は3系統（1番,18番,22番）である。イベリア半島で最初に建設された市電であるが、現在ではどちらかというと観光用的な要素が強い。むしろ市内交通の主役はバスである。そのほかケーブルカーがある。この車両に乗って、ポルト市内を周るのはとても楽しかったです。観光目的で乗るなら、22番の路線がおすすめ！ポルト中心街をぐるっと一周してくれます。

料金は3ユーロでチケットは、運転手さんから購入します。でもポルトガルに行ったら、一度はこのレトロな路面電車（トラム）を体験したほうが良いと思いますよ。



【メトロと市バス：andante】

ポルト(porto)市内のメトロ(地下鉄)、市バスなど公共交通機関が乗り放題になる便利な切符andante(アンダンテ)あります。通常のアンダンテ(andante)は、回数券タイプのカードです。（z2：1.2ユーロ）通過するゾーンの数によって料金が変わってきます。アンダンテ24は購入したゾーン内であれば、24時間乗り放題です。（z2：4.15ユーロ）

【メトロと市バス：porto card】

ポルトカードは観光スポット入場無料・割引と公共交通機関が乗り放題が付いて1日券(24h)が€13です。公共交通機関乗り放題のみのアンダンテツアー(andante tour)の値段は€7です。差額は€6ですが、観光をしっかりする人ならポルトカードのほうがお得です。たとえば、次の3ヶ所を観光すると元が取れます。

- ・クレリゴスの塔 €3 => €1.5
- ・ボルサ宮殿 €8 => €4
- ・エンリケ航海王子の家 €2.2 => 無料

ポルトワインのワイナリーツアーが10%～30%割引になったりもするので、購入されることをお勧めします。



map



ポルト観光

ドウロ川沿いのカイス・ダ・リベイラや対岸のヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアから船でドウロ川にかかる橋をめぐるツアーや、ポートワインの原料となるブドウを生産しているアルト・ドウロ地方まで船で河を遡上するツアーが出ている。

【初めてのポルト】おすすめ観光スポット8選：世界一美しいを求めて

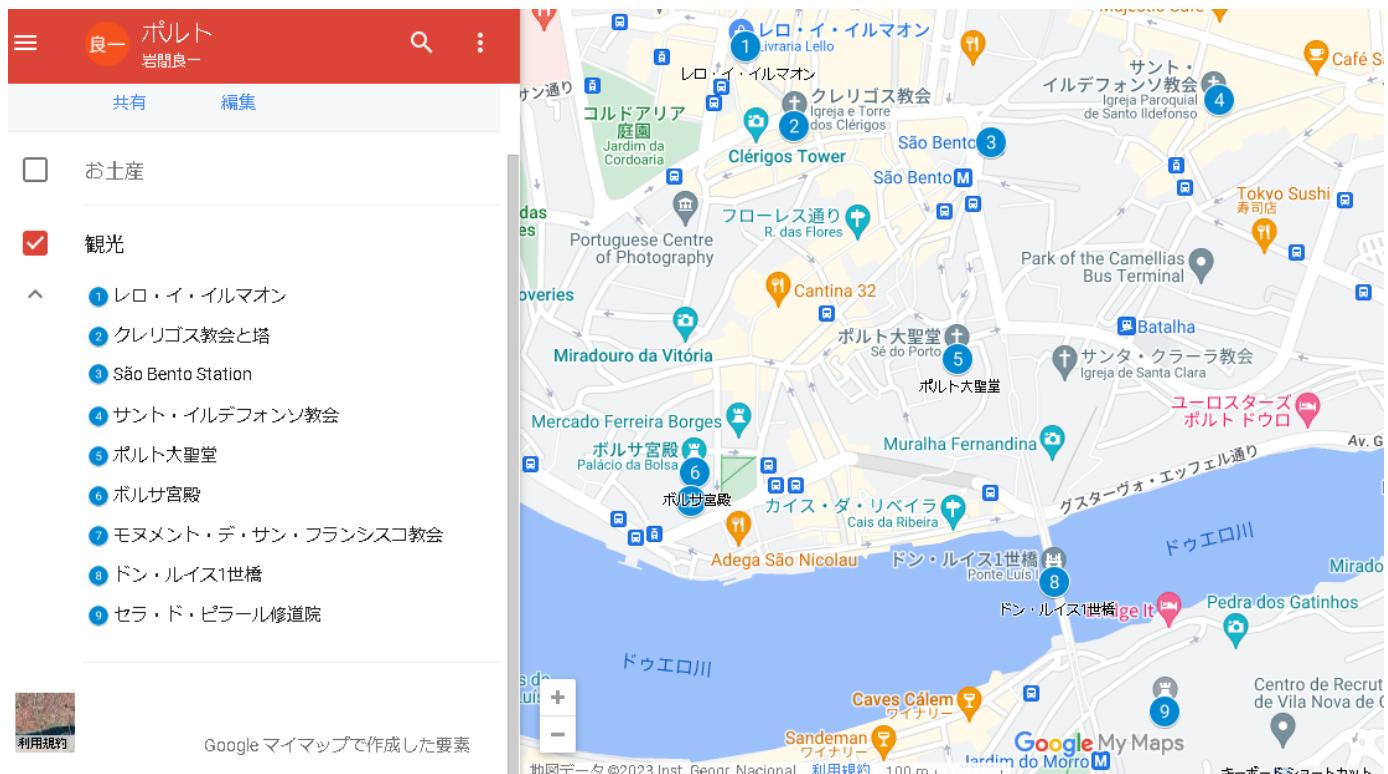
ポルトガル・ポルト観光のモデルコースを解説！ドン・ルイス1世橋はぜひ訪ねて！ | たびこふれ

【ポルトガル】女子旅にぴったり！ポルト観光おすすめ1日コース～あの『魔女の宅急便』のモデルになった街～

観光マップ

リスボンに次ぐ第二の都市ポルト。実はここポルトも『魔女の宅急便』のモデルとなったと言われているんです。それも納得、ドウロ川沿いの丘に立ち並ぶカラフルな家々は映画の世界そのもの。旧市街の歴史地区は世界遺産にも登録されており、どこか懐かしさを感じる風情ある街並みに出会えます

[ポルト - Google マイマップ](#)



観光地

ポルトの主要エリアはとてもこじんまりとしているので、観光地を1日でほぼ徒歩でまわることができるのもうれしいところ。ただ、坂や階段が多いので、街歩きは動きやすい格好や靴で行くことをおすすめします。疲れたら、途中でポルトガル名物のバカリヤウ（干しダラ）のコロッケやビーファ（豚肉サンド）、ナタ（エッグタルト）をつまんだり、カフェで小休憩を挟んでくださいね。。

①レロ・イ・イルマオン（レロ書店）

世界で最も美しい書店の一つだと言われています。また、有名作品「ハリー・ポッター」シリーズの原作者であるJ.K.ローリング氏が、ポルトに英語教師として赴任した際にここをよく訪れていたことから、作品の世界観に影響を与えた場所と言われるようになりました。今ではファンだけでなく、多くの観光客からも大人気の場所となっています。書店でありながら5ユーロの入場料



②クレリゴス教会と塔

レロ・イ・イルマオンから歩いて、すぐのところに見える大きな塔がクレリゴスの塔です。225段の階段をのぼると到着する塔の頂上からは、ポルトを360度見渡すことができるパノラマビューが待っています。クレリゴス教会の内部は、淡いピンク色の壁と金の装飾が印象的な、上品な空間。飾られている精巧な像たちは人形のようとてもリアルですよ。入場料5ユーロ（塔とミュージアムへの入場）



③サン・ベント駅

20世紀のはじめ、修道院の跡地に造られたサン・ベント駅に一步足を踏み入れると、壁一面にポルトガル伝統の装飾タイルであるアズレージョが広がっています。約2万枚のタイルには、ジョルジエ・コラコ（コラソとも）によってポルトガルの歴史的な出来事が描かれています。筆者がここを訪れたときは、アズレージョの淡いブルーと外から差し込む光が重なり、本当に美しいと感じました。





④サン・イルデフォンソ教会

サン・イルデフォンソ教会は、アズレージョの外観が美しい教会です。歴史を感じさせる重厚感と、さわやかなアズレージョのタイルの対比が印象的。

サン・イルデフォンソ教会は1739年に完成したバロック様式の聖堂で、1万枚以上のタイルには聖イルデフォンソの生涯が描かれています。サン・ベント駅のアズレージョと同じく、こちらもジョルジエ・コラコが手掛けているので、両者を見比べてみるのもおもしろいかもしれません。



⑤ポルト大聖堂（カテドラル）

ポルト大聖堂は、もとは要塞として12世紀に建てられた、ポルトでもっとも古い建物だと言われています。その威厳ある佇まいには、長い歴史を感じられずはいられません。ポルト大聖堂は、当初はロマネスク様式として建てられたようですが、長い歴史の中で何度も増改築がなされ、バロック様式やゴシック様式が混在する興味深い建物になっています。修道院内のゴシック様式の回廊の壁のアズレージョが美しいと言われています。入場料3ユーロ



⑥ボルサ宮殿

火事により消失したサン・フランシスコ教会の修道院の跡地に、19世紀に造られた建物がボルサ宮殿です。アルハンブラ宮殿を模して造られたという「アラブの間」。金をふんだんに使った豪華な装飾と、緻密な幾何学模様がとても美しい部屋で、現在でもコンサートや国際会議などが開かれているそうです。ボルサ宮殿の見学は、ガイド付のツアーに参加することが必須となっています。残念ながら日本語の説明はありません。入場料10ユーロ



⑦アモメント・デ・サン・フランシスコ教会

14世紀に造られたこの教会は、なんといっても外見からは想像もできないほどの豪華絢爛な内部が見どころ。

当時植民地であったブラジルから運んできた金をふんだんに使用した「ターリヤ・ドウラー（金泥細工）」というバロック装飾で埋め尽くした、ポルトガルの当時の繁栄が存分に感じられる教会です。また、主礼拝堂にあるキリストの家系図「ジェッセの家系樹」という彫刻は必見。ボルサ宮殿と同じく館内は撮影禁止



⑧ドン・ルイス1世橋

ポルトといえば、この景色。ドウロ川に架かるドン・ルイス1世橋です。ポルト歴史地区（ポルトの中心部）からドウロ川を挟んで、対岸のヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアを結んでいる橋です。エッフェル塔を作ったエッフェル氏の弟子により建設されました。なお、ドン・ルイス1世は当時のポルトガル国王の名前とのこと。

ドン・ルイス1世橋は二重構造になっており、上層はメトロ、下層は車が走ります。どちらも徒歩で渡ることができるので、行き帰りで両方歩いてみるのもいいですね。

テレフェリコ・デ・ガイアというロープウェイ（有料）を利用すると、ドウロ川とドン・ルイス1世橋を空から眺めることができます。また、予約不要で参加できるドウロ川クルーズ（有料）は、ドン・ルイス1世橋を含む6つの橋を下から楽しむこともできますよ。お好きな方法でドウロ川とドン・ルイス1世橋を楽しんでください。



⑨セラ・ド・ピラール修道院

セラ・ド・ピラール修道院は、ドン・ルイス1世橋を渡ったところにある丘に建てられています。

⑩ポルトグルメが満載『ボリヤオン市場』

起源は1839年までさかのばるほど、古くからポルトの住民の食生活を支えてきました。生鮮市場としてだけでなく、レストラ

9. 修道院の一部が観光客に公開されていますが、こちらに行くべき一番の理由は、なんといってここから眺める絶景。ドン・ルイス1世橋とドウロ川、そして歴史地区のオレンジの屋根が並ぶ姿を、1枚の写真へきれいに収めることができます。修道院の入場には入場料がかかりますが、ビュースポットは無料です。



ンやショップなども軒を揃えてきた、まさにポルトの台所。1914年に完成した建物は、近年4年の歳月をかけて改築。2022年9月15日に再オープンを迎えた。もちろん、ポルトガル食材店のほか、イートインできるレストラン、お土産探しにもピッタリなショップなどが目白押しですよ



レストラン

サント・イルデフォンソ教会のすぐ近くにあるのが、いつもたくさんの人で賑わっているサンタ・カタリーナ通り。ファッショングループのお店を中心に、カフェやレストラン、ショッピングモールも揃っている、歩行者天国の通りです。この通りには、1921年創業の歴史ある老舗、カフェ・マジスティックがあります。ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア側は、世界に誇るポートワインのワイナリーが所狭しと並んでいます。ポートワインは、ワインの発酵の途中にブランデーを加えて酵母の働きを止める、酒精強化ワインを指します。糖分が残っているため非常に甘く、お酒が苦手な人でも飲みやすいのですが、アルコール度数が高いためお酒が弱い人はご注意を。ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアにはレストランも点在しているので、ポートワインを楽しみながら食べるのもよし、シーフードやポルト名物のバカリヤウ料理を食べるのもよし。美食とともに、落ち着いた雰囲気の中、夜のポルトを楽しんでください。

レストランmap

良一 ポルト
岩間良一

表示小窓数 12 枚
公開: 数秒前

共有 編集

お土産

観光

レストラン

- 1 Majestic Café
- 2 Café Santiago
- 3 ラバーン
- 4 Taberninha do Manel
- 5 Tempér D'Maria
- 6 Sandeman

Google マイマップで作成した要素



restrant

中世の街並みが残る世界遺産の街・ポルト。美食の国ポルトガルの中でも、特にグルメの街として知られています。

[【世界のカフェ】世界で6番目に美しい！？ポルトが誇るクラシックカフェ「カフェ・マジェスティック」](#)

[【在住者が教える】グルメの街ポルトでおすすめレストラン・カフェ12選 | TRIPLEX（トリップラー）非日常の体験をあなたへ](#)

①カフェ・マジェスティック

1921年創業の歴史ある老舗、歴史を持つクラシックなカフェで、ランチはいかがでしょうか？ お客様のほとんどは観光客で、ドリンクや食べ物の値段は少し高いですが、重厚感のある内装と洗練された料理、「世界の最も美しいカフェ」の第6位にも輝いたほど。



②カフェ・サンティアゴ

サンタ・カタリーナ通りと交わるパッソス・マヌエル通りにある「カフェ・サンティアゴ」は、ポルト名物フランセジーニャの発祥の店と言われています。こちらへ行くならお腹を空かせておくことをおすすめします。



③シェ・ラパン (Chez Lapin)

創業1938年の老舗で、タコ料理や店名にもなっているウサギ (Lapin) 料理がこのお店の看板料理です。外観も内装もとても可愛くて情緒たっぷりです。私たちが頼んだ名物のタコのオーブン焼きと、タラのクリームグラタン。



④ポルトガルの絶品名物料理が楽しめる

「Taberninha do Manel」

Gaia地区のドン・ルイス1世橋の近くにある、川沿いにあるレストランの中でも1, 2を争う人気店です。名物の直火焼きチリソース、タラのクリームグラタン。ポルト滞在中、何軒かでフランセジーニャを食べましたが、間違いなくこちらのものが1番美味しかったです。



⑤絶品シーフード料理「Tempo

d'Maria」

ポルトのランドマークである、ドン・ルイス一世橋の近くにある「テンペロ・ド・マリア (Tempo d'Maria)」。ドウロ川沿いに面したテラス席がおすすめです。おすすめはこちらの魚介のパスタ。魚介のだしが効いたソースと、新鮮な魚介類の組み合わせが最高でした。



⑥老舗ワイナリーのテラス席でワインテ

スティング「Sandeman」

1790年創業の、ポートワインの中でも最も由緒あるといわれる「サンデマン (Sandeman)」。こちらのワイナリーでは、外にあるテラス席でドウロ川を眺めながらポートワインを楽しめます。10年熟成のポートワインの赤と、白のポートワインを頼みました。



B級グルメ（ポルトの名物）

ポルトとは、リスボンに次いで、2番目に大きいポルトガルの都市である。ポルトガル北部に位置し、大西洋に面していることから、昔より港町として栄えてきた。また、歴史的建築物が多く残るため、1996年にはユネスコの世界遺産にも認定されている。そんなポルトの街は、ポルトガル料理はもちろん、ポルト特有の郷土料理も多く、それを目当てに訪れる観光客も少なくない。ポートワインのポートも、港町である「ポルト」から名付けられ、名産品としても有名である。

[ポルトの名物料理5選！お勧めグルメ旅！ - HowTravel](#)

[【2024 ポルトガル】エッグタルトの名店5店舗食べ比べてみた【味ぜんぜん違う！】 | Tabiusagi.com ちいさん](#)

[fabrica da nata : タルト（ちいさん）、castro](#)

ランセジーニャ

「フランスの女の子」という意味のランセジーニャは、薄切りステーキやハム、ソーセージ、チーズを挟んだパンに、さらにチーズを載せて焼いてソースをかけた料理。目玉焼きやフライドポテトと一緒に食べるボリューム満点のB級グルメです。「カフェ・サンティアゴ」は、ポルト名物ランセジーニャの発祥の店



メロンクリームスープ(Creme de Sopa de Melão)

日本ではなかなかお目にかかれないメロンを使った冷製スープは、フルーツの繊維もなく、クリーミーで濃厚だがしつこすぎない甘みが特徴のスープで、これを求めて来店する観光客もいるほどだ。カフェ・マジエスティックで、メロンクリームスープを楽しみながら、優雅な時間を過ごしてみてはいかがだろうか。



バカリヤウのフライ(Pasteis de Bacalhau)

バカリヤウとは、タラを塩につけて、天日干したもの。それをちょうど良いサイズに切って、マッシュポテトで包み、衣をつけて油で揚げたもの、ポルトではよく食べられている。レストランだけでなく、カフェなどでも食べられるので、スナックとして、または酒のつまみとして、どんなシーンでもマッチするのが嬉しい1品だ。



トリパス・ア・モーダ・ド・ポルト(Tripas a Moda do Porto)

トリパス・ア・モーダ・ド・ポルトとは、ポルト風のモツ煮込みで、とても歴史のある郷土料理だ。昔、ポルトの人々は肉を軍隊に提供し、自分たちは残った臓物と豆を煮て食べていたと言う由来があり、ポルトの人々にとってはとても誇りのある食べ物なのだ。このモツ煮込みは、塩味でさっぱりとしている。



ビーフナ

ポルトガル人のソウルフード「ビーフナ」が食べられる名店「コンガ (Conga) 」。「ビーフナ」とは、パプリカや香辛料、ワインなどで煮込んだ豚肉をパンに挟んだ、ポルトガル版ファストフード。

店によっては厚切り肉が挟んでいるところもありますが、こちらのお店のものは薄切り肉がたっぷり詰め込まれていました。



パステル・デ・ナタ

世界展開するチェーン店「ナタ・リスボン (Nata Lisboa) 」。お店に一步足を踏み入れると目に入るのは、大量のパステル・デ・ナタ！こんがりと焼き目がつき、見るからに美味しいです。

肝心のお味はというと、パイ生地はサクサクで中のクリームの甘さもちょうどよく、口当たりもとてもなめらかでとても美味しいかったです。



お土産

かわいいの宝庫！ポルトガルのお土産15選 ▶ Portugal Travel

お土産map

ヴィラ・ノヴア・デ・ガイアのドウロ川沿いには様々なお土産屋さんが並んでいます。コルクで作った小物など、ポルトらしいお土産がたくさんありますので、覗いてみてはいかがでしょうか。

①Pingo doce 」地元民の台所 ポルトガルの大手スーパー

②ボリヤン市場

③Mercado48 ~オシャレでセンスのいいポルトガル雑貨店~ 「48市場 ポルト」で検索すると見つかります。

④ザ・お土産ものショップ Portosigns : ポルトに3店舗あります。リベイラ広場方面にある店舗です。

⑤Sandemanワイナリー付近の河川敷には露店がたくさん並んでいます。

The map displays the city of Porto, Portugal, with the Douro River flowing through it. Key locations marked with numbered pins include:

- 1. Pingo Doce Porto - Cedofeita
- 2. ボリヤン市場 (Mercado do Bolhão)
- 3. 48市場 (Mercado 48)
- 4. Portosigns
- 5. Sandeman
- 6. Pingo Doce Praça da República
- 7. Pingo Doce Praça da Praça da República

Other landmarks shown on the map include the Alfandega Congress Center, the Sé (Cathedral), the São Bento train station, and various parks and churches. The map also shows the city's layout with streets like Rua de Álvares Cabral, Rua do Brineiro, and Rua de Cabo Simão.

お土産品

ガログッズ

ポルトガルのお土産屋さんに必ずある鉄板グッズが、雄鶏「ガロ」の置物です。基本の黒色から、赤や白、緑まで、色とりどりのカラフルなボディにかわいらしいペイントが施されたガロは、ポルトガルの幸せのお守り。お気に入りの1羽を探してくださいね。お部屋にガロがいるだけで、ポルトガルらしさが生まれますよ。



アズレージョ柄グッズ

ポルトガルの町中や建物の中を彩るタイルのことを「アズレージョ」といいます。青く美しい絵画のようなものから、色鮮やかな模様が組み合わされたものまで、一言でアズレージョと言ってもそのデザインはさまざまです。そんなアズレージョ柄はお土産でも大活躍。ノートやコースターなど、アズレージョの柄がついているだけで一気にポルトガルらしさ満点のグッズになりますよ。



コルクグッズ

ポルトガルは、世界一のコルクの生産量を誇る国。コルクがとれる木、コルク樺は主にポルトガル南部のアレンテージョ地方で栽培されています。

コルクといえば、ワインの栓をする丸い形のものを思い浮かべるかもしれません、ポルトガルにはコルクを使った、お土産にぴったりのかわいいグッズがたくさんあります。



ポルトガルでとておきのアクセサリーを買いたい方におすすめなのが、伝統工芸品の金線・銀線細工「フリグーラーナ」です。極細の金や銀の糸からつくれる、繊細な模様はうつとり見とれてしまう美しさ。さまざまなデザインがありますが、定番のモチーフはポルトガル北部の町ヴィアナ・ド・カステロ発祥のハート型モチーフです。



ポルトガルの食文化で欠かすことのできない「イワシ」。ポルトガルのイワシ愛は、お土産にもしっかりと反映されています。イワシ型の小物、イワシのイラストつきのグッズなど、何でもあります。ありそうでなかったイワシモチーフ、いろいろ見ているとどれもかわいらしく見えてくるから不思議です。



ポルトガルの陶器もチェックしておきたいお土産のひとつ。地域ごと、さまざまなタイプの陶器が生み出されていますが、なかでも有名なのがポルトガルの老舗陶器ブランド「ボルダロ・ピニエロ」の製品です。キャベツやトマト、動物などをモチーフとしたインパクトのあるデザインの陶器から、ヴィンテージ感のあるおしゃれな陶器までバリエーションも豊富。



コスメグッズ

リスボン発祥の自然派コスメブランド「BENAMÔR（ベナモール）」。ハンドクリームやボディバターなど、持って帰りやすく、お土産にもぴったりの商品がそろいます。パッケージのかわいらしさと言えば、ポルトガルの石鹼も見逃せません。思わず部屋に飾りたくなるような、レトロなデザインの石鹼がたくさん。「CLAUSPORTO（クラウスポート）」など、日本でも購入できるブランドもあります。



缶詰め

ポルトガルの缶詰めの充実度。スーパーにはツナ・イワシ・サバ・バカリヤウ・タコやイカなど、幅広い魚介の缶詰めが棚の上から下までずらっと陳列されています。オイル漬けのものから、開封してそのまま食卓に出せるような味付きのものまでバリエーションも豊富。味わい深い絵柄のパッケージは、持って帰ったあとしばらくは飾って眺めておきたくなるかもしれません。



ワイン・ポートワイン

ポルトガル土産で外せないのが名産品のワイン。ポルトガルのレストランで味わったお気に入りのワインや、日本ではなかなか買えないポートワインやマディラワインを日本に持ち帰りたいですよね。デパートや大きめのスーパーには、広々としたワインコーナーが設けられていてポルトガル全土のワインに出会えます。ワインは何本も持ち帰ると重くなるのに加えて、3本を超える場合は税関での申告が必要になります。



検討資料

chatGPT…「クルーズ寄港地ポルトの一日観光スケジュールを具体的に計画して」

ポルト（ポルトガル）は美しい港湾都市で、ポートワインで有名です。一日の観光スケジュールを具体的に計画します。以下は一つの提案ですが、あなたの興味に合わせてカスタマイズできます。

午前:

朝食: ホテルで朝食を楽しんで、エネルギーをチャージしましょう。

リベイラ地区: リベイラ地区はポルトの歴史的な中心地で、川岸に広がる美しいエリアです。トルジョ通りからスタートし、川沿いに散歩しましょう。

リベイラ市場: リベイラ地区には多くのカフェとレストランがあり、ここで新鮮な海産物や地元の料理を楽しむことができます。

午後:

リベイラ地区のワイナリー訪問: ポルトはポートワインで有名です。リベイラ地区にあるワイナリーでワインの試飲ツアーを予約し、ポートワインの製造プロセスについて学びましょう。

ルイス一世橋の散歩: ポルト市内の美しいルイス一世橋を渡り、向こう側のヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア地区へ向かいましょう。川岸の景色が素晴らしいです。

夕方:

ポルトガルの夕暮れは、街の窓辺でお酒を飲む時間です。街角の小さなバーで、地元のワインやカクテルを楽しんで、一日を締めくくりましょう。

ポルトガルの夕暮れは、街の窓辺でお酒を飲む時間です。街角の小さなバーで、地元のワインやカクテルを楽しんで、一日を締めくくりましょう。

「リイフ・ノリア・テ・カイノ」のノイナリー訪問: ポートワインの製造地であるリイフ・ノリア・テ・カイノで別のノイナリーを訪れ、さらにソインの試飲を楽しんでください。

ダウンタウン散歩: ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアからポルト市内に戻り、サン・ベント駅周辺やアヴェニダ・ダ・リベルダーデなど、ダウンタウンを散策しましょう。

夜:

ディナー: リベイラ地区やポルト市内のレストランで、ポルトガル料理を楽しんでください。特にバカラオ（鱈の料理）やフランセジーニャ（サンドイッチ）を試すのをおすすめします。

夜のポルト: 夜になるとポルトの歴史的な地区は美しくライトアップされ、夜の散歩が楽しいです。リベイラ地区のカフェでポートワインを楽しんだり、地元の音楽や文化を体験しましょう。

このスケジュールはポルトの魅力的な観光地をカバーしており、ポルトガルの文化と美食を楽しむことができるでしょう。ただし、ご自身の興味や制約に合わせて調整してください。また、アクティビティやレストランの予約を忘れずに行い、時間に余裕をもって行動しましょう。

ポルトの駐輪場事情

ポルトは自転車の利用が増えている都市であり、駐輪場の整備も進んでいます。以下はポルトの駐輪場事情の概要です

＜駐輪場の場所＞

主要な観光地: ポルトの主要な観光地や公共施設の近くには、自転車用の駐輪スペースが設けられています。例えば、リベイラ地区、サン・ベント駅、クレリゴス塔など。

公共交通機関の駅: 地下鉄駅やバス停付近にも駐輪場が設置されていることが多いです。

＜駐輪場の種類＞

オープンスペース: 市内の多くの場所には簡易的な自転車ラックが設置されており、自由に利用することができます。

有料駐輪場: 一部の場所には、監視付きの有料駐輪場もあります。これらは安全性が高く、長時間駐輪する場合に便利です。

＜サイクリングインフラ＞

自転車専用レーン: ポルト市内には自転車専用レーンが整備されており、安全に自転車を利用できる環境が整っています。

レンタサイクル: ポルト市内では、レンタサイクルサービスも充実しています。市内の複数の場所で自転車を借りることができます。観光客にも便利です。

＜安全対策＞

施錠: 公共の駐輪スペースを利用する場合は、しっかりと自転車を施錠することが推奨されます。特に観光地では盗難のリスクがあるためです。

監視カメラ: 一部の駐輪場には監視カメラが設置されており、セキュリティが強化されています。

ポルト観光にお勧めの広場と通りを教えて

ポルトは美しい歴史的な街並みが魅力で、広場や通りも散策に最適です。以下に、ポルト観光におすすめの広場と通りを紹介します。

【広場】

1. リベイラ広場 (Praça da Ribeira)

ポルトの旧市街に位置し、ドウロ川に面した広場です。カラフルな建物が並び、川沿いのカフェやレストランでくつろげます。ここからは、ドン・ルイス1世橋やヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア（ワインセラー街）が見渡せ、観光スポットとして人気です。

2. 自由広場 (Praça da Liberdade)

ポルトの中心に位置し、観光の出発点として便利な場所です。広場には歴史的な建物やモニュメントが並び、19世紀に建てられた立派な市庁舎 (Câmara Municipal) が広場を見下ろしています。ここから有名なアベニーダ・ドス・アリアードス通りが広がります。

3. インファンテ・ドン・エンリケ広場 (Praça do Infante D. Henrique)

15世紀の航海王子、エンリケ航海王子の銅像がある広場です。歴史的な証券取引所 (Palácio da Bolsa) やサン・フランシスコ教会などの観光スポットにも近接しています。観光しながら歴史を感じられるスポットです。

4. ポルサ宮殿前のサン・フランシスコ広場 (Praça de São Francisco)

サン・フランシスコ教会の前にある広場で、ゴシック様式の教会と華やかな内装が印象的です。観光の合間に一息つくのにぴったりの場所です。

【通り】

1. サンタ・カタリナ通り (Rua de Santa Catarina)

ポルトのメインショッピングストリートで、多くのカフェやブティック、地元のショップが軒を連ねています。有名な「マジェスティック・カフェ」もここにあり、ポルトガルのカフェ文化を体験できます。

2. アリアードス通り (Avenida dos Aliados)

都市の中心を貫く広々とした通りで、周囲には壮麗な建物やホテルが建ち並んでいます。通りの南端は自由広場に接し、北端には市庁舎がそびえています。ポルトの重要なイベントやパレードもよくここで行われます。

3. ミゲル・ボンバルダ通り (Rua de Miguel Bombarda)

アートとデザインの中心地として知られており、ギャラリーやデザイナーショップが集まっています。独特なクリエイティブな雰囲気を楽しめる、文化好きな人には外せない通りです。

4. フローレス通り (Rua das Flores)

美しい歴史的な通りで、近年リノベーションが行われ、カフェやブティック、ホテルが立ち並びます。ポルトガルの伝統的な建物や芸術的なタイル装飾が魅力です。

これらの広場や通りを散策することで、ポルトの美しい風景や文化に触れることができるでしょう。

クルーズターミナル (Porto de Leixões Cruise Terminal) からポルト市内に移動

1. タクシー： 約20～30分 約15～25ユーロ

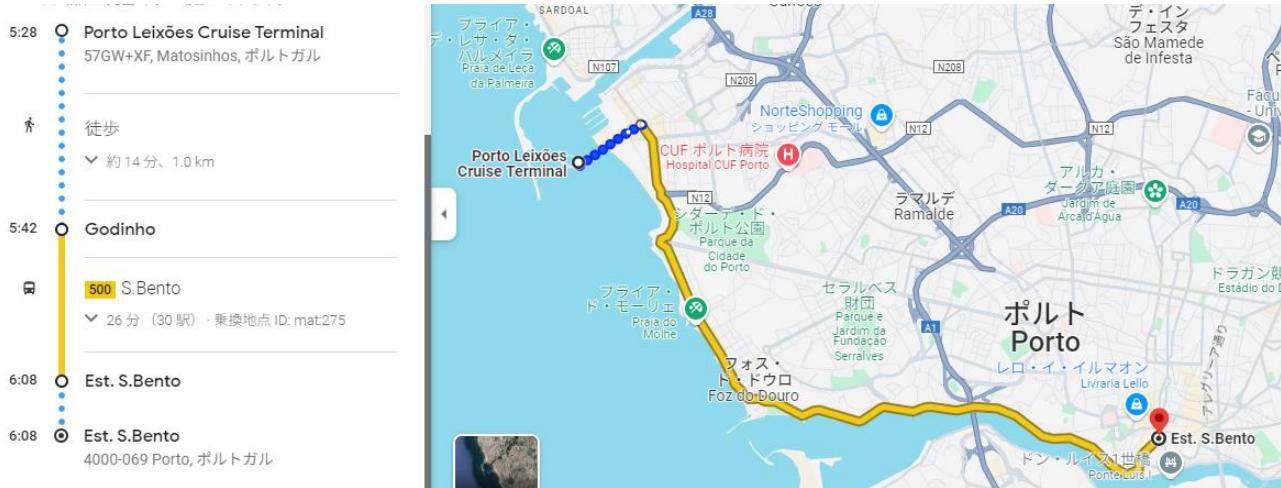
2. 自転車： Porto de Leixões Cruise Terminal→Porto São Bento駅：11km：38分

3. メトロ： 最寄り駅: Matosinhos Sul (1.3km, 約19分)→ポルト市内中心部 (Est. S.Bento駅) 約20～30分、約2ユーロ



4. バス： レイショエス港から最寄りのバス停「Godinho」まで徒歩 (1km:14分) 、

→500番バスに乗車し、市内中心部のEst. S.Bentoで降車： 約40分(40分間隔)、約2ユーロ



観光コース

想定所要時間： 460分 (7時間40分)

11:00【寄港地からポルト市内までの移動】 60分

(1) タクシー：20分 (2) 自転車：40分 (3) メトロ：40分 (4) バス：40分

【ポルト市内の散策】 160分 (2時間40分)

<③São Bento Station> 10分 (0.14km:2分/1分) ポルトガル伝統の装飾タイル
<自由広場 (Praça da Liberdade)> 10分 (0.24km:4分/3分) ここから有名なアベニーダ・ドス・アリアードス通り
<②クレリゴス教会と塔> 20分 (0.23km:4分/3分) 塔に登りポルトの街を眺める
<フローレス通り (Rua das Flores)> 10分 (0.45km:6分/3分) 美しい歴史的な通り
<⑤ポルト大聖堂> 30分 (0.45km:8分/4分) 修道院内のゴシック様式の回廊の壁のアズレージョが美しい
<インファンテ・ドン・エンリケ広場 (Praça do Infante D. Henrique)> 10分 <⑥ボルサ宮殿：20分>
<⑦モヌメント・デ・サン・フランシスコ教会：10分> <Portosigns：ザ・お土産ものショップ：20分>
70分 (0.85km:12分/5分)
<リベイラ広場 (Praça da Ribeira)> 10分 (0.2km:3分/1分)

【ランチ】 90分

(1) Bacalhau : 4.5(3,354)・お手頃ポルトガル料理店
(2) Chez Lapin : 3.4(3,638)・お手頃レストラン
(3) Café do Cais - Restaurante & Cocktails 3.5(1,861)・お手頃レストラン
(4) Muro do Bacalhau : 4.6(1,764)・お手頃ポルトガル料理店

【Gaia Cable Carに乗る】 90分

<ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア地区の散策> 70分
Chez Lapin→Gaia cable car - Cais de Gaia station : ワイナリー駅まで徒歩移動：20分 (1.1km:15分/7分)
付近を散策30分+帰りはGaia Cable Car に乗る20分
<Est. S.Bentoまで地下鉄で移動> 20分
Jardim do Morro station→Est. S.Bento : 1分：地下鉄（5駅）、徒歩350m (6分)

【寄港地に戻る】 60分

São Bento Station から Av. de Ramos Pin...

- A São Bento Station
- B 自由広場 (Praça da Liberdade)
- C クレリゴス教会と塔
- D Rua das Flores
- E ポルト大聖堂
- F Portosigns
- G Praça da Ribeira
- H Av. de Ramos Pinto 331, 4430-233 Vila Nova...



※Gaia Cable Car情報

テレフェリコ・デ・ガイア(Gaia Cable Car: Jardim do Morro station~ Cais de Gaia station) £7

場所: ガイアケーブルカーはポルトガルのドウロ川を挟んでポルトの対岸に位置するヴィラ・ノヴァ・デ・ガイアにあります。川や歴史的なポルト市、ガイアにある有名なポートワインのセラーを一望できる素晴らしい景色を楽しめます。ケーブルカーは2つの駅間を運行しています。

上の駅: ジャルディン・ド・モロ (ドン・ルイス1世橋の上部付近)、下の駅: カイス・デ・ガイア (川沿い、ワインセラーの近く)。

所要時間: 通常の所要時間は約5分です。

片道券: 大人は約6ユーロ、往復券: 大人は約9ユーロ

参考サイト

[寄港地【2025年4月発】北欧＆アラスカコースのクルーズ旅行](#)

[ポルト\(ポルトガル\)のおすすめ観光スポット クチコミ人気ランキング【フォートラベル】](#)

[ポルト 旅行・観光ガイド 2023年 - トリップアドバイザー](#)

[ポルト - Wikipedia](#)

[在ポルトガル日本国大使館](#)

[ポルトガル都市：ポルトはこんなところ\(地区・治安\) - ヨーロエステートのブログ](#)

[2023年 ポルトのおすすめの名所＆観光スポット - 無料キャンセル | GetYourGuide](#)

[スペイン・ポルトガル旅 美味しい！楽しい！美しい！ポルト観光は最強＜前編＞#2-11 - YouTube](#)

[ポルトガルグルメ巡り, ドウロ川沿い観光, 街歩きと雑貨屋巡り, レロ書店 - YouTube](#)

[ポルトガルのポルトを1日散策【世界一周Lv.25】 - YouTube](#)

[何度も訪れたくなるポルトの街歩き - YouTube](#)

[単身ポルトガル生活の一ヶ月の生活費 | Lissa](#)

[旅のお役立ち情報 | ようこそポルトガル](#)

[ポルト - Google マイマップ](#)

[ポルトガル人に英語は通じる？ポルトガル語翻訳ツールも紹介 | 訪日ラボ](#)

[ポルトガル旅行、ポルトのメトロや交通機関の乗り方、料金は？](#)

[意外にお得なポルトカードでポルトを観光【ポルト】](#)

[【初めてのポルト】おすすめ観光スポット8選：世界一美しいを求めて](#)

[ポルトガル・ポルト観光のモデルコースを解説！ドン・ルイス1世橋はぜひ訪ねて！ | たびこふれ](#)

[【ポルトガル】女子旅にぴったり！ポルト観光おすすめ1日コース～あの『魔女の宅急便』のモデルになった街～](#)

[ポルトの名物料理5選！お勧めグルメ旅！ - HowTravel](#)

[【在住者が教える】グルメの街ポルトでおすすめレストラン・カフェ12選 | TRIPLER（トリッpler） 非日常の体験をあなたへ](#)

[かわいいの宝庫！ポルトガルのお土産15選 ▶ Portugal Travel](#)

[ポルトのスーパー、雑貨屋でポルトガルのお土産探し♪ | なあだのローカル・ウォーカー](#)

[\(律\) ポルトガル リスボンに次ぐ タライシ グルメの街ポルト パステルデナタ フードコートでは子豚の丸焼きあり②](#)